

2020 年度音楽学部公募制推薦入試の「面接・プレゼンテーション」

プレゼンテーションの内容・テーマ

高校までの学習成果（教科学習、総合学習のほか、検定試験の取組みも可）、**課外活動**（クラブ活動、生徒会活動、ボランティア活動などの取組み）、**学外活動**（楽器演奏・歌唱、作品制作、コンクール・コンテスト出場、地域活動等）などについて、各自が内容・テーマを決めて、2～3分程度で発表を行います。

実施方法

※試験室に入室したら、面接官の指示に従って、次のとおり進めてください。

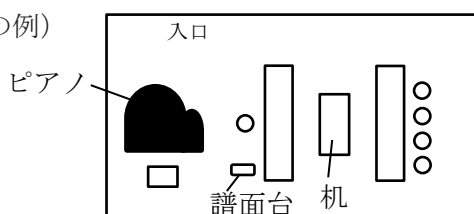
- (1) 入室したら、プレゼンテーション（発表）の内容・テーマを口頭で伝えます。
- (2) プレゼンテーションの準備
証明書類など提示するものや使用する物品は、指定された机の上に置いてください。持ち込んだものが机に置けない、または持ち込んだものを使用して発表する場合は、面接官に申し出た上で指示に従ってください。
- (3) 準備ができたなら、面接官に確認の上、発表をはじめてください。
 - ・資料の提示は認めます。（配布は不要）
 - ・発表内容がまとめられているもの（原稿・メモ）や演奏、歌唱による発表で使用する楽譜の持ち込みは認めます。
 - ・演奏、歌唱による発表で使用する楽器の持ち込みは認めます。
- (4) 発表が終わり次第、面接に入ります。
（プレゼンテーションの片付けが必要な場合は、面接後に行ってください。）
- (5) 試験終了

実施に当たってのルール

- ① 試験は通常の教室で行います。

室内の備品で利用できるものは、机1台、ピアノ、譜面台のみです。

（試験室の例）



※試験室のレイアウトは変更になる可能性があります。
※電源は使用できません。

- ② プレゼンテーション（発表）方法は自由です。発表のしかた自体に有利不利はありません。
- ③ 口頭発表の場合には、発表時間が短い分には構いませんが、長くても3分でおさまるよう準備してください。
- ④ 演奏発表（楽器演奏・歌唱）の場合には、3分を超える演奏曲を準備して構いませんが、曲の途中でカットの指示を出すことがあります。

なお、伴奏者・共演者の同伴は認めません。大学でも用意しません。

＜試験室内への持ち込みについて＞

- ① プレゼンテーションに必要な資料・物品（制作物、電子機器、楽譜、書籍、賞状、楽器ほか）は試験室に持ち込んで構いませんが、受験者本人が持ち運びできるものとしてください。
- ② 準備に時間を要したり、持ち込んだ機器等にトラブルが発生しても、プレゼンテーションの試験時間は考慮しません。発表できる時間が短くなりますので注意してください。
- ③ 試験当日、試験会場内で受験生以外の者がプレゼンテーションの準備等を補助することは認めません。

＜その他＞

「面接・プレゼンテーション」は、個人単位で実施します。また、試験順番は事前に発表しません。

1人あたりの試験時間は、出願状況により決定しますが、「面接」部分の時間は受験者全員が同程度の時間となるように実施します。

試験直前に音出し等の準備を希望する者には、控室（練習室）の使用を認めます。

（詳細は試験当日指示。使用時間は5分程度で、希望者全員同一時間とします。）

以 上

[2019/5/25 版]